

特別活動

特別活動は、子供たちがよりよい学校生活を目指して自分の力を発揮する活動です。学級活動、児童会活動、クラブ活動、そして学校行事が含まれます。活動を通して、自分の役割を自覚したり、責任を果たしたりすることで、集団の一員としての意識を高めることができます。また、仲間と関わっていく中で、一人一人が自分のよさに気付くことができます。さらに、教師は、多様性を認め合えるよう子供たちに働きかけ、目指す学校の姿「みんながつながり子供の夢を育てる」の具現化を図ります。

今回は、クラブ活動と児童会活動、縦割り班活動について紹介します。

クラブ活動

今年度は、球技、パソコン、絵画工作、手作り、科学、テーブルゲーム、野外活動の7種類のクラブが設立されました。共通の興味・関心をもった4年生以上の子供たちが、それぞれのクラブに所属しています。

子供たちの話し合いによって、活動内容や役割分担が決定します。必要に応じて活動グループごとに話し合ったり、担当教員と打ち合わせをしたりしながら、子供たちは自発的に取り組んでいます。

上級生は、下級生にあたたかい言葉をかけたり、準備や片付けを率先して行ったりするなど、下級生の憧れの存在として輝いています。

委員会活動

高学年の全児童が、学校生活がより豊かなものになるように、活動しています。

「二小に通う全ての子供が、児童会の一員である」ことが意識できるように、直接委員会に参加しない低学年の子供たちにも昼の放送や掲示物等を通して活動内容を伝えています。

議題ボックスに寄せられた声をもとに始まった「二松祭」も、定期的に行われるようになって今年で三年目を迎えました。

縦割り班活動

1年生と6年生、2年生と5年生、3年生と4年生がそれぞれ班をつくり、朝の縦割り班遊び、奉仕活動、縦割り班給食&お楽しみ会を行っています。

上級生がリーダーとなり、学期ごとに遊びの計画を立てたり、振り返りをしたりしています。下級生の笑顔と、「ありがとう」の言葉が、上級生の活動への意欲を高めます。